

be 動詞現在形

1. be 動詞の使い分け

be 動詞には三つの種類があります。

- 1.主語が I の場合…am
- 2.主語が You もしくは複数の場合…are
- 3.主語が 3人称 の場合…is

人称とは、以下のことです。

- 自分 → 1人称
- 相手 → 2人称
- その他 → 3人称

例文：

I am a student.

(私は生徒です。)

You are a tennis player.

(あなたはテニスの選手です。)

He is a doctor.

(彼は医者です。)

She is at home.

(彼女は家にいます。)

This is an apple.

(これはリンゴです。)

That is a ball.

(あれはボールです。)

2. be 動詞の意味

be 動詞には2つの意味があります。

1 「～です」

例文：

I am a student. (私は生徒です。)

It is a book. (それは本です。)

2 「～にいます」「～にあります」

例文：

You are in the class.

(あなたは教室にいます。)

The baseball game is today.

(野球の試合が今日あります。)

※この場合、be 動詞の後に場所や時間を表す言葉がくることが多い。

3. be 動詞の英作文

1 肯定文

主語＋述語 (be 動詞) ＋～.

例文： 私は中学生です。

⇒ まずは単語に

私は 中学生 です。

(I) (a junior high school student) (am)

⇒ これを 主語＋述語＋～. に並べると、

I am a junior high school student. (完成)

どうですか？それほど難しくはないと思います。もう一問やってみます。

例文： 彼女は庭にいます。

⇒ まずは単語に

彼女は 庭に います。

(She) (in the garden) (is).

⇒ これを 主語＋述語＋～. に並べると、

She is in the garden. (完成)

単語力が非常に大切なことがわかりますね。

さて、次は否定文に入ります。

2 否定文

主語＋述語 (be 動詞) ＋ not ＋～.

否定文は「～でない」を表し、not が「～でない」の意味です。肯定文の、be 動詞の直後に not をつけるだけで否定文が完成します。すぐに理解できますよ。

例文： 彼は先生ではありません。

⇒ まずは単語に

彼は 先生 ではありません。

(He) (a teacher) (is not).

⇒ これを 主語＋述語＋ not ～. に並べると、

He is not a teacher. (完成)

先ほども述べましたが、

be 動詞の直後に not をつけるだけです。

では、もっと簡単にもう一問

例文： 私は生徒です。(I am a student.)

上で出てきた例文です。

これを否定文にしてみます。

またまた述べますが、

be 動詞の直後に not をつけるだけです。

⇒ be 動詞の直後に not をつけるだけ

I am not a student.

(私は生徒ではありません。)

さて、実はこの **not** には短縮形があります。「長いので短くしよう」というわけです。 次の二種類を覚えて下さい。

1.is not → isn't

2.are not → aren't

この短縮形は、
使っても使わなくても、どちらでも **OK** です。
だからすぐ上の例文は、

He is not a teacher. ⇔ He isn't a teacher.

どちらでも正解です。
もう1つ重要なことは、
am not の短縮形はないことです。

3 疑問文

述語 (be 動詞) + 主語 + ~ ?

疑問文は、「～ですか。」 「～いますか。」を表す文です。be 動詞を文頭に持っていきただけで疑問文が完成します。ピリオドを?にすることも忘れないで下さい。

また、答え方にもルールがあります。では、疑問文とその答え方を学習しましょう。

例文： I am a student. (私は生徒です。)

疑問文： Am I a student? (私は生徒ですか。)

変な日本語と思うかもしれませんが、be 動詞を文頭に持っていきただけで疑問文ができました。次は答え方です。

「はい」の場合

Yes, +主語+be 動詞.

「いいえ」の場合

No, +主語+be 動詞+ not.

すぐ上の疑問文に答えてみます。

Yes, you are. (はい、そうです。)

No, you are not. (いいえ、ちがいます。)

あれ? と思いませんでしたか? そうです、疑問文と答えでは主語が変わっています。でも、理屈で考えたら簡単ですよ。分かりやすいように、日本語の例文にしましょう。

例えば、想像してみてください。あなたは、今友達と二人で会話をしています。

A : 私は掃除係ですか？

B : はい、あなたはそうです。

(いいえ、あなたはちがいます。)

どうですか？主語が変わっているのがわかりますね。会話の流れからして、主語が変わるのは当然です。では、もう一つのパターンを見てください。

例文：

You are a tennis player.

(あなたはテニスの選手です。)

疑問文：

Are you a tennis player?

(あなたはテニスの選手ですか。)

答え方：

Yes, I am. (はい、そうです。)

No, I am not. (いいえ、ちがいます。)

質問されたので、答えるのは私。だから主語は I です。

実は主語を変えないパターンもあります。

例文：

They are your friends.

(彼らはあなたの友人です。)

疑問文：

Are they your friends?

(彼らはあなたの友人ですか。)

答え方：

Yes, they are. (はい、そうです。)

No, they are not. (いいえ、ちがいます。)

主語が変わっていません。これも想像したら分かると思います。私とあなたが「彼ら」について話をしているので、「彼ら」という主語は変化しません。同じようなパターンが以下の例文です。

疑問文：

Is he a doctor? (彼は医者ですか。)

答え方：

Yes, he is. (はい、そうです。)

No, he is not. (いいえ、ちがいます。)

疑問文：

Is she at home? (彼女は家にいますか。)

答え方：

Yes, she is. (はい、います。)

No, she is not. (いいえ、いません。)

主語が変わらないパターンは楽です。しかし、もう一つパターンがあります。いままでみてきたのは、主語＝人の文ですが、主語＝物になるとどうなるのでしょうか。下がその例文です。

例文：

This is an apple. （これはリンゴです。）

疑問文：

Is this an apple? （これはリンゴですか。）

疑問文の作り方は同じです。be 動詞を文頭に持っていただけです。答え方が少し変わります。

答え方：

Yes, it is. （はい、そうです。）

No, it is not. （いいえ、ちがいます。）

物が主語の場合は、it で答えなければなりません。以下もその例です。

疑問文：

Is that a ball? （あれはボールですか。）

答え方：

Yes, it is. （はい、そうです。）

No, it is not. （いいえ、ちがいます。）

物が主語の場合は、it で答えることを覚えて下さい。

4. 短縮形

否定文で少し学びましたが、もう少しだけ短縮形を覚えて下さい。

- I am = I'm
- you are = you're
- they are = they're

例文 1. : 私は少年です。

I am a boy. = I'm a boy.

例文 2. : あなたは美しい。

You are beautiful. = You're beautiful.

例文 3. : 彼らは私のクラスメイトだ。

They are my classmates.

= They're my classmates.

それほど難しくありません。短縮形は意外と出題されますので、必ず覚えて下さい。

Copyright (C) 2008 All Rights Reserved, ちょいデブ親父の英文法